

利根町告示第 9 1 号

平成 2 2 年第 4 回利根町議会定例会を次のとおり招集する。

平成 2 2 年 1 2 月 3 日

利根町長 遠 山 務

1 . 招 集 の 日 平成 2 2 年 1 2 月 1 4 日

2 . 招 集 の 場 所 利根町議会議場

平成 2 2 年第 4 回利根町議会定例会会期日程

日次	月 日	曜日	会 議	内 容	開議時間
1	12. 14	火	本会議	開会 提出議案説明（一部採決）	午前10時
2	12. 15	水	本会議	一般質問（5人）	午前10時
3	12. 16	木	本会議	一般質問（2人）	午前10時
4	12. 17	金	休 会	議案調査	
5	12. 18	土	休 会	議案調査	
6	12. 19	日	休 会	議案調査	
7	12. 20	月	本会議	質疑・討論・採決  閉会	午前10時

平成22年第4回  
利根町議会定例会会議録 第1号

平成22年12月14日 午前10時開会

1. 出席議員

1番	能登百合子君	9番	五十嵐辰雄君
2番	西村重之君	10番	会田瑞穂君
4番	守谷貞明君	11番	飯田勲君
5番	高橋一男君	12番	岩佐康三君
6番	中野敬江司君	13番	高木博文君
8番	今井利和君	14番	若泉昌寿君

1. 欠席議員

なし

1. 説明のため出席した者の氏名

町長	遠山務君
総務課長	飯田修君
企画財政課長	秋山幸男君
税務課長	鈴木弘一君
まちづくり推進課長	高野光司君
住民課長	木村克美君
福祉課長	師岡昌巳君
保健福祉センター所長	石塚稔君
環境対策課長	蓮沼均君
保険年金課長兼国保診療所事務長	矢口功君
経済課長	菅田哲夫君
都市建設課長	飯塚正夫君
会計課長	飯田美代子君
教育長	伊藤孝生君
学校教育課長	鬼沢俊一君
生涯学習課長	石井博美君
水道課長	福田茂君

1. 職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	蛭 原 一 博
書	記 雑 賀 正 幸
書	記 飯 田 江 理 子

1. 会議録署名議員

5 番	高 橋 一 男 君
6 番	中 野 敬 江 司 君

1. 議事日程

---

議 事 日 程 第 1 号

平成22年12月14日(火曜日)

午前10時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の件
- 日程第3 議案第66号 龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置の廃止について
- 日程第4 議案第67号 利根町介護保険条例の一部を改正する条例
- 日程第5 議案第68号 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第6 議案第69号 平成22年度利根町一般会計補正予算(第7号)
- 日程第7 議案第70号 平成22年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 日程第8 議案第71号 平成22年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 日程第9 議案第72号 平成22年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第10 議案第73号 平成22年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 日程第11 議案第74号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第4号)
- 日程第12 議案第75号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第13 請願第12号 T P P の参加に反対する請願
- 日程第14 請願第13号 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の件
- 日程第3 議案第66号

- 日程第 4 議案第67号
- 日程第 5 議案第68号
- 日程第 6 議案第69号
- 日程第 7 議案第70号
- 日程第 8 議案第71号
- 日程第 9 議案第72号
- 日程第10 議案第73号
- 日程第11 議案第74号
- 日程第12 議案第75号
- 日程第13 請願第12号
- 日程第14 請願第13号

---

午前 10 時 00 分開会

議長（若泉昌寿君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより平成22年第4回利根町議会定例会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

---

議長（若泉昌寿君） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

監査委員から、平成22年8月分から10月分の現金出納検査の結果について報告がありました。それぞれの写しをお手元に配付してあります。

次に、町長から議案が提出されておりますので、報告させます。

議会事務局長蛭原一博君。

〔議会事務局長蛭原一博君登壇〕

議会事務局長（蛭原一博君） 今期定例会に町長より議案が、条例2件、補正予算6件、人事案件1件、その他1件の計10件及び県南農民組合より請願が2件提出されておりますので、ご報告いたします。

議案第66号 龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置の廃止について

議案第67号 利根町介護保険条例の一部を改正する条例

議案第68号 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案第69号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第7号）

議案第70号 平成22年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第71号 平成22年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第72号 平成22年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第2号）

議案第73号 平成22年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

議案第74号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算（第4号）

議案第75号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について

請願第12号 T P Pの参加に反対する請願

請願第13号 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

以上で、諸般の報告を終わります。

議長（若泉昌寿君） 報告が終わりました。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

これより議事日程に入ります。

---

議長（若泉昌寿君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第118条の規定により、

5番 高橋一男君

6番 中野敬江司君

を指名いたします。

---

議長（若泉昌寿君） 日程第2、会期の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から12月20日までの通算7日間にしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日から12月20日までの7日間に決定いたしました。

なお、会期の内訳については、お手元に配付の会期日程のとおりであります。

---

議長（若泉昌寿君） 審議に入るに当たり、本定例会に提出されました議案の総括説明を求めます。

町長遠山 務君。

〔町長遠山 務君登壇〕

町長（遠山 務君） 皆さん、おはようございます。平成22年第4回利根町議会定例会を招集しましたところ、年末の何かとご多用中の中、議員の皆様方には今定例会にご出席を承り、まことにありがとうございます。

12月12日投票の県議会選挙には、それぞれの事情、またお立場でご活動されましたことに対し、大変ご苦労さまでございました。

最初に、提出議案の総括説明に先立ちまして、町政の一端を申し上げます。

内閣府は月例経済報告で、景気は引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きも見られるが、このところ環境の厳しさは増している、とした9月時点の基調判断を、10月以降、景気はこのところ足踏み状態と、判断修正をしているところでございます。

先行きについては、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されるが、依然としてデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念があり、注意の必要性を投げかけているところでございます。

国内の雇用情勢を見ますと、10月の完全失業率は5.1%と前月9月より0.1ポイント上昇し、依然高い水準で推移をしています。

また、景気動向指数の一つでもある有効求人倍率は、10月は0.60倍と、前月より0.03ポイント改善、5カ月連続で改善はしておりますが、依然厳しい雇用情勢が続いております。

こうした状況の中、去る11月26日には国会において、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策を盛り込んだ、歳出総額4兆8,513億円の2010年度の補正予算が成立をしたところでございます。

生活関連の主な予算概要に触れますと、雇用・人材育成関連で約3,199億円、子育てや医療・介護・福祉等の強化による安心の確保関連で約1兆1,239億円、そして、地域活性化、社会資本整備、中小企業対策関連では約3兆706億円などの対策費が盛り込まれております。

政府は、これを契機に日本経済を本格的な回復軌道に乗せるとともに、デフレを終結させようとしておりますが、今後において景気がよい方に回復好転すること、また、依然として深刻な雇用情勢が改善することを切に願うものであります。

続きまして、当町の主要な事業の進捗状況等の一端につきまして、ご報告申し上げます。

町の最優先課題である旧学校跡地の利活用につきまして申し上げますと、旧利根中学校跡地と旧布川小学校跡地については、学校法人タイケン学園から、この2校を一体的に活用し、学生1,000人規模のスポーツ系4年制大学を新設したいとの申し出があり、町に活用提案書が提出されました。

これを受けまして、去る11月29日ではありますが、第5回目となる利根町土地利活用推進協議会が開催され、承認をいただいたところでございます。

町としましては、この大学誘致を図ることで、町と大学との連携を密にし、学生と地域住民とのコミュニケーションによる町の活性化はもとより、多くの学生が町に来ていただくことが、後の大きな経済効果につながっていくものと考えております。

また、さらに旧利根中学校跡地の一部につきましては、農産物直売所としての活用を考えておりますが、農産物直売所やレストラン等の運営にも大学の誘致は相当プラスになるものと考えております。

一方、旧東文間小学校跡地につきましては、財団法人高齢者生活支援機構から、一般的な高齢者専用賃貸住宅とは違った、入居者の身体的機能の低下や介護が必要な状態になっ

た場合にも対応できるよう配慮された適合高齢者専用賃貸住宅として活用したいとの申し出があり、数回にわたり町と協議を重ねてきた経緯がございます。

その後、条件が整いましたので、同様に協議会に諮りましたところ、こちらにつきましても承認をいただいたところでございます。

本年12月1日現在ですが、住民基本台帳人口で見ますと65歳以上の高齢者割合は27.65%であります。今後急速に進展していく高齢化に敏感に対応する上でも、こうした施設の受け入れは福祉の基盤づくりの一つとして、とても重要であり、また、一方では施設が開設されることで、雇用の場の確保にもつながり、大きな効果が期待できるものと考えております。今後も引き続き協議を重ねまして、年度末には具体的な利活用方針を決定したいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いをいたします。

次に、子宮頸がんとインフルエンザ菌b型、小児用肺炎球菌の3種類のワクチン接種につきまして申し上げたいと思います。

ヒトパピローマウイルスの感染が主なものとされている子宮頸がんではありますが、日本では年間1万人前後が罹患し、約2,000人から3,000の方が亡くなっているとも言われております。

また、インフルエンザ菌b型、通称ヒブと呼ばれているものですが、髄膜炎、肺炎、喉頭炎など深刻な病気を引き起こすとされ、このヒブは新生児期以降の髄膜炎の原因菌の第1位とされ、患者の年齢はゼロ歳代の乳児が53%と最も多く、ゼロから1歳代で70%以上を占めるとも言われております。

同様に肺炎球菌についても、子供の感染症の2大原因の一つとされ、小さい子供、特に赤ちゃんのうちはまだこの細菌に対する抵抗力がないため、髄膜炎や貧血症、肺炎など症状の重い病気を引き起こすとされております。

国においては、補正予算の成立を受け、子育て、医療、介護、福祉等の強化による安心の確保関連におきまして、疾病対策、子宮頸がん等のワクチン接種の早期実施に向けた作業を現在急ピッチで行っているところでございます。今後、この事業の財源となる臨時特例交付金が交付され、県では基金創設の作業を進める予定となっております。

続きまして、文小学校北校舎と南校舎からの通路の耐震補強工事について申し上げます。

この耐震化につきましても、さきの国の補正予算である地域活性化関連のうち、学校施設の耐震化等の推進に係る事業としまして実施を検討しております。既に県を通じ国へ要望書を提出しているところでございます。

また、同様に地域活性化交付金が交付される予定もあり、こちらにつきましては町では早尾地内の町道1057号線道路修繕工事への充当を現在予定しているところでございます。

ただいま申し上げてきました国の補正予算関連事業につきましても、いずれにしましても現在のところ、まだ通知や内示等が来ていない状況にあります。今後、国や県の動向を見守りながら、また、連絡やタイミングを見まして補正予算を計上し、事業に早急に着手

してまいりたいと考えております。

以上、町の重要課題への取り組みの状況の一端等につきまして申し上げましたが、議員の皆様方には、引き続き今後の町政運営に対するご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

続きまして、本日、提出しました議案の総括説明を行います。

今定例会におきましては、条例改正が2件、補正予算が6件、人事案件が1件、その他1件の合計10件の審議をお願いするものでございます。

議案第66号は、龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置の廃止についてで、龍ヶ崎市と利根町及び河内町で共同設置している介護認定審査会の共同設置の廃止について、地方自治法の規定により、関係団体の協議が必要なため提案をするものでございます。

議案第67号は、利根町介護保険条例の一部を改正する条例で、平成23年度から町単独で介護認定審査会を設置するに当たり、介護保険法の規定により当該審査会委員の定数を条例で定める必要があるため提案するものであります。

議案第68号は、利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例で、平成23年度から単独で設置する介護認定審査会の委員長及び委員の報酬を定めるため提案するものであります。

議案第66号から68号までは関連議案でございます。

議案第69号は、平成22年度利根町一般会計補正予算（第7号）で、歳入歳出それぞれ2,079万円を追加し、総額を54億937万2,000円とするものであります。歳入増の主なものは国庫支出金と繰入金で、歳出増の主なものは民生費と土木費であります。

議案第70号は、平成22年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）で、直営診療施設勘定に新たに債務負担行為を追加するものであります。

議案第71号は、平成22年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）で、歳入歳出それぞれ142万6,000円を追加し、総額を3億5,594万7,000円とするものであります。

議案第72号は、平成22年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第2号）で、新たに債務負担行為を追加するものであります。

議案第73号は、平成22年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）で、歳入歳出それぞれ142万8,000円を追加し、総額を2億6,129万6,000円とするものであります。

議案第74号は、平成22年度利根町水道事業会計補正予算（第4号）で、収益的収入及び支出の水道事業費用を2,700万円追加し、総額を4億2,121万8,000円とし、新たに債務負担行為を追加するものでございます。

議案第75号は、利根町固定資産評価審査委員会委員の選任についてで、利根町大字加納新田118番地、石塚美知子氏を利根町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、議会の同意を求めるものであります。

以上、提出議案の概要につきましてご説明を申し上げますが、詳細につきましてはそ

それぞれの担当課長から説明をさせたいと思いますので、何とぞ適切なるご判断を承りますようよろしくお願いをいたします。

議長（若泉昌寿君） 総括説明が終わりました。

議長（若泉昌寿君） 日程第3、議案第66号 龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置の廃止についてを議題といたします。

補足説明を求めます。

福祉課長師岡昌巳君。

〔福祉課長師岡昌巳君登壇〕

福祉課長（師岡昌巳君） それでは、議案第66号 龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置の廃止について補足してご説明申し上げます。

この件は、平成23年3月31日をもって龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置を廃止するものでございます。

裏面にあります提案理由にありますとおり、介護保険法の施行に伴い、龍ヶ崎市、利根町及び河内町は介護認定審査会を共同設置し、平成11年10月より運営を行ってきたところでございますが、職員も習熟し、介護認定審査会を運営するために不可欠である人材等も整いつつある現状において、各自治体が単独で介護認定審査会を運営していく時期に来ているとの見解で一致したものであります。よって、地方自治法第252条の7第2項の規定により、共同設置の廃止について関係団体の協議が必要なため提案するものでございます。

なお、介護認定審査会の共同設置を必要とした経緯及び概要でございますが、要介護認定事務におきましては人材確保が最重要課題となっており、審査会を構成する委員につきましては、保健、福祉、医療の分野からバランスよく選定することが条件となっております。

このことから、当時、医師を初め、それぞれの分野における専門職の確保と介護認定審査会の開催頻度を考慮いたしますと、利根町及び河内町においては単独で設置することは非常に困難な状況であり、各町長から龍ヶ崎市長に共同設置を依頼し、平成11年10月1日に龍ヶ崎市外2町介護認定審査会が設置されたものでございます。

ちなみに、当時の茨城県内の介護認定審査会の設置状況でございますが、当時85市町村のうち、単独設置が27市町村、共同設置が15地区45市町村、一部事務組合が2地区13市町村という設置状況でございました。

平成22年4月現在でございますが、県内44市町村のうち、単独設置が32市町村、共同設置が龍ヶ崎市地区を含めまして4地区9市町、それと3市によります一部事務組合が1カ所となっております。

現在の龍ヶ崎市外2町介護認定審査会につきましては、三つの合議体で構成されておまして、週に3回開催されております。審査会の委員は21名おりまして、一つの合議体の

委員の定数は7名でございます。開催時の出席委員4名で審査を行っている状況でございます。

また、共同設置廃止に伴う経緯でございますが、本年4月以降、数回の3市町による協議を開催し、7月9日付で利根町及び河内町より龍ヶ崎市長に対しまして、共同設置の廃止について提案いたしました。

その後、龍ヶ崎市長より、7月30日付で利根、河内両町に廃止に係る協議書が送付され、8月23日付で廃止に異議ない旨、回答しております。なお、3市町とも今期定例議会に議案が上程されているところでございます。

説明につきましては、以上でございます。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

お諮りいたします。

議案第66号について、議案調査のため本日は説明のみにとどめ、本定例会最終日の12月20日に質疑、討論、採決したいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

---

議長（若泉昌寿君） 日程第4、議案第67号 利根町介護保険条例の一部を改正する条例を議題といたします。

補足説明を求めます。

福祉課長師岡昌巳君。

〔福祉課長師岡昌巳君登壇〕

福祉課長（師岡昌巳君） それでは、議案第67号 利根町介護保険条例の一部を改正する条例について、補足してご説明申し上げます。

利根町介護保険条例（平成12年利根町条例第29号）の一部を次のように改正する。第1条の次に次の1条を加える。（介護認定審査会の委員の定数）第1条の2 利根町介護認定審査会の委員の定数は10人以内とする。

附則ですが、この条例は平成23年4月1日から施行する。

提案理由でございますが、平成23年3月31日をもって龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の共同設置を廃止し、平成23年度から町単独で介護認定審査会を設置するに当たり、介護保険法第15条第1項の規定により当該審査会委員の定数を条例で定める必要があるため提案するものでございます。

なお、条例では委員の定数だけを定めるものでございますが、参考資料2の利根町介護認定審査会規則（案）でございますが、一つの合議体の委員定数を5人とし、二つの合議体を設置する予定でございます。

また、審査会は原則月2回開催し、1回につき30人から35人の審査を予定してございま

す。これは現在の共同設置におきまして、週3回審査会が開催されておりますが、利根町の配分が1回につき6件ということから計算してございます。

また、さらに審査件数がふえた場合は、臨時審査会を開催できるよう検討しております。説明につきましては、以上でございます。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

お諮りいたします。

議案第67号について、議案調査のため本日は説明のみにとどめ、本定例会最終日の12月20日に質疑、討論、採決したいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

---

議長（若泉昌寿君） 日程第5、議案第68号 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

補足説明を求めます。

福祉課長師岡昌巳君。

〔福祉課長師岡昌巳君登壇〕

福祉課長（師岡昌巳君） それでは、議案第68号 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について補足してご説明申し上げます。

この件は、平成23年度から利根町が単独で設置する介護認定審査会の委員長及び委員の報酬を定めるため提案するものでございます。

利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成2年利根町条例第5号）の一部を次のように改正する。

別表第1中、障害者介護給付費等支給審査会の次に介護認定審査会、会長及び委員長日額1万9,000円、委員日額1万6,200円に改めるものでございます。

附則としまして、この条例は平成23年4月1日から施行する。

なお、この報酬の金額でございますが、現在の龍ヶ崎市外2町介護認定審査会の報酬と同額でございます。

また、龍ヶ崎市及び河内町におきましても単独設置後、同額を予定しているとのことでございます。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

お諮りいたします。

議案第68号について、議案調査のため本日は説明のみにとどめ、本定例会最終日の12月20日に質疑、討論、採決したいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

議長（若泉昌寿君） 日程第6、議案第69号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第7号）から日程第11、議案第74号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算（第4号）までの6件を一括議題としたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、日程第6、議案第69号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第7号）から日程第11、議案第74号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算（第4号）までの6件を一括議題といたします。

補足説明を求めます。

それでは、議案第69号について、企画財政課長秋山幸男君。

〔企画財政課長秋山幸男君登壇〕

企画財政課長（秋山幸男君） それでは、議案第69号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第7号）につきまして、補足してご説明申し上げます。

5ページをお願いいたします。第2表債務負担行為の補正でございます。

これは、平成23年4月から業務を実施したいため債務負担行為を行うものでございます。最初にありますとおり、議会費の議会会議録反訳委託から、一番下段の庁舎日常清掃業務委託（緊急雇用創出事業）までの19件の事業でございます。期間としましては、平成22年度から平成23年度まで、限度額につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、8ページをお願いいたします。

歳入でございます。

款11分担金及び負担金、目1民生費負担金で341万6,000円を増額するものでございます。これは、保育園の入所児童が見込みより多くなりましたことに伴うものでございます。

続きまして、款13国庫支出金、目1民生費国庫負担金で1,296万2,000円を増額するものでございます。内訳といたしまして、節2児童福祉費負担金の836万7,000円の増額は、保育園入所児童が多くなったことによるものでございます。節9子ども手当負担金の459万5,000円の増額は、支給対象児童が見込みより多くなったことに伴うものでございます。

款14県支出金、項1県負担金、目1民生費県負担金で551万9,000円を増額するものでございますが、こちらは、今、国庫負担金でご説明申し上げました内容と同様の理由によるものでございます。

続いて、項2県補助金、目1総務費県補助金で1,060万円を減額するものでございます。これは、ふるさと雇用再生特別基金事業補助金で、アンテナショップ事業の委託先が確保できないことから減額となったものでございます。

目2民生費県補助金で20万6,000円を増額するものでございます。これは、障害者自立

支援法による事業所が新体系への移行を促進するための事務処理費を支援するため補助されるものでございます。

目4 農林水産業費県補助金で135万7,000円を増額するものでございます。これは、節1 農業委員会補助金は農地法改正に伴う啓発等の経費について補助されるものでございます。また、節5 農村環境整備事業費補助金は、茨城県の森林湖沼環境税に基づく平地林整備のために交付されるものでございます。

次のページをお願いいたします。

款16寄附金、目3 給付費寄附金で5万円を計上いたしましたものでございます。これは、利根町大房在住の藤後邦夫氏から寄附をいただきましたことに伴い計上したものでございます。

款17繰入金、項1 基金繰入金、目1 財政調整基金繰入金は645万2,000円を増額するものでございます。これは、今回の補正予算の財源に充てるため繰り入れをするものでございます。

次に、項2 特別会計繰入金、目5 後期高齢者医療特別会計繰入金で142万8,000円を増額するものでございます。これは、平成21年度の後期高齢者医療特別会計事業の事業費の確定によるものでございます。

続きまして、次の10ページをお願いいたします。

歳出でございますが、款1 議会費、目1 議会費で33万6,000円を増額するものでございます。これは、議場に設置されておりますカメラ1台の修繕費を計上したものでございます。

款2 総務費、目5 財産管理費で92万3,000円を増額するものでございます。これは来年2月に行います平成23年、24年度の競争入札参加資格申請に伴う業者管理台帳データの打ち込み業務を委託するための経費を見込んだものでございます。

次に、款3 民生費、目1 社会福祉総務費で33万4,000円を増額するものでございます。この主なものは、先ほども申し上げましたが、障害者自立支援法により事業所が新体系への移行を促進するための事務処理を支援するための経費を見込んだものでございます。

次のページにまいりまして、目10保健福祉センター費で12万7,000円を増額するものでございます。これは、乳児の離乳食材料や障害者の作業療法などの材料の保管に使ってありました冷蔵庫が使用不能となったために、購入費を計上したものでございます。

続きまして、項2 児童福祉費、目2 児童措置費、こちらで2,806万9,000円を増額するものでございます。こちらは、歳入でもご説明申し上げましたが、保育園入所児童が増加したことに伴うもの、また、子ども手当の受給者の増加に伴いまして増となったものでございます。

次に、款4 衛生費、目2 予防費で190万5,000円を増額するものでございます。これは女性特有のがんの乳がん、子宮がんの受診率向上事業費について、平成21年度の事業費が確

定しましたことから返還金を計上したものでございます。

次に、目4環境衛生費で46万2,000円の増額をするものでございます。これは、犬、猫死体処理の処理件数の増加に伴い増額をするものでございます。

次のページをお願いいたします。

項2清掃費、目1清掃総務費で644万4,000円の減額をするものでございます。これは、平成22年第3回議会定例会の議決に伴いごみ袋作成費及びステッカー印刷費を減額するものでございます。

次に、款5農林水産業費、目1農業委員会費で24万1,000円を増額するものでございます。この主なものは、先ほど歳入でも申し上げましたが、農地法改正によりパンフレット作成及び配布費などの事務費を計上したものでございます。

目3農業振興費で1,060万円を減額するものでございます。これは歳入でもご説明申し上げましたが、アンテナショップ事業の委託先が確保できないことから減額となったものでございます。

次のページにまいりまして、目6農村環境整備事業費の115万5,000円の増額は、茨城県の森林湖沼環境税に基づきまして、その活用事業として平地林整備事業を行うもので、立木地区の蛟もう神社の門の宮周辺と押戸地区の王子神社周辺の整備を行うための事業費を計上したものでございます。

続きまして、款7土木費、目1河川総務費で353万2,000円を増額するものでございます。これは、スーパー堤防整備事業で宅地開発区域の用地取得費と、その土地の登記を行うための経費を計上したものでございます。

次に、款9教育費、項1教育総務費、目2事務局費で70万円を増額するものでございます。これは私立幼稚園の就園奨励補助金で、本年10月までの実績から今後の支出額を推計したものでございます。

次に、項4社会教育費、目8図書館費で5万円を増額するものでございます。これは、先ほど歳入でもご説明申し上げましたが、寄附をいただきましたので、その寄附の充当をいたしまして図書を購入を行うため計上したものでございます。

以上で説明を終わります。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第70号について、保険年金課長兼国保診療所事務長矢口 功君。

〔保険年金課長兼国保診療所事務長矢口 功君登壇〕

保険年金課長兼国保診療所事務長（矢口 功君） それでは、議案第70号 平成22年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきまして補正してご説明申し上げます。

今回の補正につきましては、先ほど町長が申し上げましたように、施設勘定の債務負担行為の補正のみとなっております。

それでは、2ページをお開き願いたいと思います。

第1表の債務負担行為の補正でございますが、第1点目は国保診療所医療事務業務委託でございます。これは、診療所における医療事務を専門業者に委託しまして業務を行うもので、平成23年4月より実施したいため債務負担をするものでございます。期間につきましては、平成22年度から23年度まで、また、限度額につきましては669万9,000円でございます。

次に、2点目でございますが、国保診療所日常清掃業務委託でございます。これは緊急雇用創出事業の一環として、診療所の共有部分及び敷地内の除草といった日常清掃業務委託を実施するものでございます。こちらにつきましても、平成23年4月より業務を実施したいため債務負担をするものでございます。期間につきましては、平成22年度から平成23年度まで、また、限度額につきましては160万4,000円でございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第71号について、都市建設課長飯塚正夫君。

〔都市建設課長飯塚正夫君登壇〕

都市建設課長（飯塚正夫君） 議案第71号 平成22年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について補足説明いたします。

4ページをお開きください。

最初に、歳出の方からご説明いたします。

公共下水道維持管理費でございますけれども、27公課費で142万6,000円の増額でございます。これは、平成21年度分の消費税額が9月に決定し、平成21年度分精算分と平成22年度中の中間納税額の確定に伴い、不足している額を補正するものでございます。

繰入金でございますけれども、それに伴い財政調整基金から繰り入れてございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第72号について、環境対策課長蓮沼均君。

〔環境対策課長蓮沼均君登壇〕

環境対策課長（蓮沼均君） それでは、議案第72号 平成22年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、補足してご説明いたします。

2ページをお開き願います。

第1表の債務負担行為の補正でございますが、これは町営霊園環境整備業務委託でございまして、清掃、除草、剪定、害虫防除等の業務を平成23年4月より実施したいための債務負担行為でございます。期間としましては、平成22年度から平成23年度までで、限度額は324万5,000円でございます。

説明は以上でございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第73号について、保険年金課長兼国保診療所事務長矢口功君。

〔保険年金課長兼国保診療所事務長矢口功君登壇〕

保険年金課長兼国保診療所事務長（矢口功君） それでは、議案第73号 平成22年度

利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）につきまして、補足してご説明申し上げます。

初めに、歳入でございます。

4ページをお開き願いたいと思います。

款5諸収入、項3雑入、目4雑入で142万8,000円の増額となっております。これは、平成21年度後期高齢者医療保険料等負担金の過年度分精算金でございます。去る8月27日に開催されました平成22年度第2回茨城県後期高齢者医療広域連合定例会におきまして、平成21年度茨城県後期高齢者医療広域連合特別会計決算が認定されまして、広域連合納付金のうち療養給付費負担金が確定したことに伴う超過納入分の返還金を補正するものでございます。

続きまして、歳出でございますが、款3諸支出金、項2繰出金、目1一般会計繰出金で、同じく142万8,000円を増額するものでございます。これは、町負担金の超過納入分を一般会計に繰り出すものでございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第74号について、水道課長福田 茂君。

〔水道課長福田 茂君登壇〕

水道課長（福田 茂君） それでは、議案第74号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算（第4号）につきまして、補足してご説明申し上げます。

1ページの中ほどよりちょっと下ですが、債務負担行為の補正でございます。これにつきましては、平成24年4月1日から県南水道企業団に加入することに伴いまして、上下水道料金のデータを県南水道企業団のシステムの方に移行するための業務委託でございます。平成23年4月から業務を実施するため、今定例会に提案するものでございまして、期間につきましては、平成22年度から平成23年度まで、限度額につきましては348万6,000円でございます。

次に、2ページの方で収益的収入及び支出の支出の部で、款1水道事業費、項1営業費用の目3総係費を2,700万円増額補正するものでございます。これは、現在、河内町の一部に利根町から給水を実施している分についてでございますが、この統合に伴いまして、河内町水道に今度切りかえを実施いたしますが、その工事負担金でございます。

現在、河内町の方には石綿セメント管がまだ1.5キロメートルほど残っておりまして、それらを布設替えしながら、河内町水道への切りかえを実施するという工事内容になります。

工事費総額、概算でございますが約7,600万円で、そのうち利根町負担分が4,050万円。その4,050万円のうちの平成22年度負担分としまして2,700万円になるわけでございます。平成23年度は約1,350万円ほどを予定しております。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

お諮りいたします。

議案第69号から議案第74号までの6件について、議案調査のため本日は説明のみにとどめ、本定例会最終日の12月20日に質疑、討論、採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

議長（若泉昌寿君） 日程第12、議案第75号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

補足説明を求めます。

総務課長飯田 修君。

〔総務課長飯田 修君登壇〕

総務課長（飯田 修君） それでは、議案第75号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任につきまして、補足してご説明申し上げます。

これは、地方税法第423条第3項の規定によりまして、議会の同意を得るため提案をするものでございます。

利根町固定資産評価審査委員会委員に下記の者を選任したいので、同意を求めるものでございます。

住所ですけれども、利根町大字加納新田118番地、氏名ですが、石塚美知子氏、生年月日、昭和23年11月16日、そのほか略歴につきましては、議案第75号の参考資料をご参照いただきたいと思います。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

これから本案に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第75号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第75号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

ただいま利根町固定資産評価審査委員会委員に選任されました石塚美知子さんのあいさつをお願いいたします。

〔利根町固定資産評価審査委員会委員石塚美知子君登壇〕

利根町固定資産評価審査委員会委員（石塚美知子君）　ただいま利根町固定資産評価審査委員会委員として皆様のご同意をいただきました石塚美知子でございます。

私といたしましては、この職を、公平かつ中立的な立場に立ち、微力ではございますが誠実に全うしたいと考えております。議員の皆様方には今後ともご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げまして、簡単ではございますが、私のあいさつにかえさせていただきます。

ありがとうございました。（拍手）

議長（若泉昌寿君）　あいさつが終わりました。

---

議長（若泉昌寿君）　日程第13、請願第12号　ＴＰＰの参加に反対する請願を議題といたします。

請願の趣旨事項説明を求めます。

紹介議員を代表して13番高木博文君。

〔13番高木博文君登壇〕

13番（高木博文君）　お手元に請願文書表が渡されていると思いますので、ご参照いただきます。

請願書を述べまして提案の説明にかえさせていただきます。

ＴＰＰの参加に反対する請願

〔請願趣旨〕

菅首相は、臨時国会冒頭の所信表明演説で「環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加を検討し、アジア太平洋貿易圏の構築をめざす」と表明し、そのための検討をおこなっています。

ＴＰＰは、原則としてすべての品目の関税を撤廃する協定で、農水省の試算でも、わが国の食料自給率は40％から14％に急落し、米の生産量は90％減、砂糖、小麦はほぼ壊滅します。農業生産額4兆1千億円、多面的機能3.7兆円喪失、実質GDPが7.9兆円、雇用が340万人減少するとしています。北海道庁の試算でも、北海道経済への影響額は2兆1254億円に及び、農家戸数が3万3千戸も減少するとしています。

このように、重要な農産物が例外なしに関税が撤廃されれば日本農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大であり、国民の圧倒的多数が願っている食料自給率の向上とＴＰＰ交渉への参加は絶対に両立しません。

いま、求められることは、食糧をさらに外国に依存する政策と決別し、世界の深刻な食糧需給に正面から向き合い、40％程度に過ぎない食料自給率を向上させる方向に大きく踏

み出すことと考えます。

以上の主旨から下記の事項についての意見書を政府関係機関に提出することを請願します。

〔請願項目〕

1、「環太平洋戦略的経済連携協定」(TPP)に参加しないこと。

請願者住所氏名

茨城県取手市新川297

県南農民組合組合長 岡野 忠

紹介議員氏名 能登 百合子

紹介議員氏名 西村 重之

紹介議員氏名 高橋 一男

紹介議員氏名 中野 敬江司

紹介議員氏名 今井 利和

紹介議員氏名 五十嵐 辰雄

紹介議員氏名 会田 瑞穂

紹介議員氏名 飯田 勲

紹介議員氏名 高木 博文

議長(若泉昌寿君) 説明が終わりました。

本請願については、会議規則第92条第2項の規定によって、委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長(若泉昌寿君) 異議なしと認めます。したがって、本請願については、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

次に、本請願に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

本請願に対しては、紹介議員が過半数を上回っておりますので、採択することに決定とし、意見書を提出することにいたします。

---

議長(若泉昌寿君) 日程第14、請願第13号 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願を議題といたします。

請願の趣旨事項説明を求めます。

紹介議員を代表いたしまして13番高木博文君。

〔13番高木博文君登壇〕

13番(高木博文君) 紹介議員を代表し説明をさせていただきます。

先ほどと同様、お手元に請願文書表が配られておりますので、これを読み上げて提案説明にかえさせていただきます。

#### 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

〔請願趣旨〕

農水省は、米戸別所得補償モデル事業によって米の需給は均衡し、米価は安定するとしてきましたが、相対価格は下落を続け、22年産の9月の相対価格は前年を14%、2000円も下落する事態に至っています。

各地のJAが示した概算金は1万円程度、中には7千円台という驚くべき水準で、農家に衝撃を与えています。いま農村では、農家があまりにも安い米価に失望し、無策で冷淡な政府の姿勢に憤りを募らせています。こうした事態を生み出した最大の原因は、戸別所得補償を口実に「価格対策はとらない」と公言してきた政府の姿勢にあることは明らかです。

この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続いている中で、生産者の努力は限界を超えており、かつて経験したことのない米価の下落が、日本農業の大黒柱である稲作存続の土台を破壊し、それはまた国民への主食の安定供給を困難にし、政府が進める米戸別所得補償モデル事業されも台なしにするものと考えます。

私たちは、米の需給を引き締めて価格を安定・回復させるためには、政府が年産にかかわらず、過剰米を40万トン程度、緊急に買い入れることが最も効果的であると考えます。

以上の趣旨から下記の事項についての意見書を政府関係機関に提出していただくことを請願します。

〔請願項目〕

1、米価の下落対策を直ちに講ずること。

そのために年産にかかわらず40万トン程度の買い入れを緊急に行うこと。

請願者住所氏名

茨城県取手市新川297

県南農民組合組合長 岡野 忠

紹介議員氏名 能登 百合子

紹介議員氏名 西村 重之

紹介議員氏名 高橋 一男

紹介議員氏名 中野 敬江司

紹介議員氏名 今井 利和

紹介議員氏名 五十嵐 辰雄

紹介議員氏名 会田 瑞穂

紹介議員氏名 飯田 勲

紹介議員氏名 高木 博文

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

本請願については、会議規則第92条第2項の規定によって、委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。したがって、本請願については、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

次に、本請願に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

本請願に対しては、紹介議員が過半数を上回っておりますので、採択することに決定とし、意見書を提出することにいたします。

---

議長（若泉昌寿君） 以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

明日は午前10時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会といたします。お疲れさまでした。

午前11時08分散会